

公民館だより なかがわ

第516号

令和7年10月31日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「初めてのフランス刺繍」 ～クリスマスツリーを飾ろう～

日時：11月25日（火）・12月2日（火）
10：00～12：00頃 ※2日間で完成

※AかBを選んでお申込み下さい。
公民館に見本があります。

場所：中川地区公民館 図書室

講師：高木 直 さん

（山形大学名誉教授）

持ち物：裁縫道具、飲み物、必要な方は眼鏡

材料費：700円

定員：先着10名程度

締切：11月13日（木）

対象：中川地区民

※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。

A



B



参加者募集

中川地区食生活改善推進協議会主催

消費生活講座

「たかめよう！消費者力」

テーマ「消費者トラブルと食品ロス」

日時：12月5日（金）
10：00～11：00頃

場所：中川地区公民館 集会室

講師：山形県消費生活センター相談員

持ち物：筆記用具、飲み物

参加費：無料

定員：先着15名程度

（男性の方の参加もお待ちしております！）

締切：11月21日（金）

対象：中川地区民

※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。



出前スポーツ教室

定員：各15名程度

場所：中川地区公民館集会室

日時	種目	持ちもの
11月21日（金） 10時～11時	ミニフットゴルフ	飲み物 屋内シューズ

お申し込み先：中川地区公民館（☎679-2501）

11・12月 行事予定



11/1（土）～2（日）福祉村文化産業まつり
11/7（金）パソコンクラブ
11/10（月）自衛消防訓練
11/11（火）粋いき倶楽部（職員不在時間あり）
11/14（金）ウォーキング教室反省会
11/15（土）主事部・体育部反省会
11/18（火）そば打ち愛好会
11/19（水）福祉村50周年記念式典（職員不在時間あり）
11/21（金）出前スポーツ教室「ミニフットゴルフ」
11/25（火）一般講座「初めてのフランス刺繍①」
11/26（水）グラウンド・ゴルフ愛好会反省会
11/28（金）防犯協会中川支部研修会

12/1（月）市報、館報
12/2（火）一般講座「初めてのフランス刺繍②」
三者会、会長会、公民館運営協議会
12/5（金）食改セミナー、調理室大掃除
12/12（金）公民館大掃除、中川地区表彰委員会
12/16（火）そば打ち愛好会
12/19（金）パソコンクラブ
12/20（土）しめ飾り作り
12/23（火）一般講座「フラワーアレンジメント教室」
（※12月1日の館報にて募集します）
12/29（月）～1/3（土）公民館休館

グラウンド・ゴルフ愛好会（月曜日）
11/5（水）、10、17、26（水）
詩吟教室（火曜日）11/4、18、25

ラージピンポン愛好会（木曜日）11/6、13、20、27
スポーツ麻雀愛好会（木曜日）11/6、13、20、27

「中川福祉村大運動会」

10月5日(日)、「第50回中川福祉村大運動会」が、市長はじめ多くの来賓の方々にご来場いただき、200人以上の地区民が参加し開催されました。踊り「花笠音頭」から始まり、「なにで運ぼう」「OXクイズ」「綱引きチャレンジ」「目指せホールインワン」「パン喰い競争」「紅白まり入れ」「村長とジャンケン大会」が行われ、大いに盛り上がりました！小学生以下を対象にした「なにで運ぼう」は、お玉やうちわなどにピンポン玉など大小のボールを乗せて落とさずにゴールまで運ぶ競技で、落とさないように一生懸命運ぶ子供たちの可愛い姿を見ることができました。「パン喰い競争」は、パンを口でくわえるのが難しかったようですが、久しぶりに体験した大人も初めての子供もみんなで楽しむことができました。来賓の方にも飛びいりで参加していただきました。「綱引きチャレンジ」では、地区ごとの参加だった為、会場の応援も盛り上がりました。最後に、木村村長とジャンケンをして、最後の一人が商品をゲットしてすべての競技が終了となりました。

この運動会は、福祉施設の入所者と地区民との交流、また中川地区民同士の協力と親睦を図ることを目的としています。これからも、多くの方々が気軽に参加できる運動会を目指していきたいと思ひます。早朝から準備していただいた役員の皆さん、参加していただいた地区や施設の皆さん、本当にありがとうございました。来年も多くの皆さんの参加をお待ちしております！



【一般講座】「秋の寄せ植え教室」

9月26日(金)、蘭花園の佐藤 淳志さんを講師にお迎えし、毎年恒例となりました「秋の寄せ植え教室」を開催しました。ガーデンシクラメン、ガーベラ、リンドウ、エリカ、フジナデシコ、ラムズイヤー、シルバープッシュ、キク、チェリーセージなど9種類のお花を準備していただきました。暑いぐらいの秋晴れの中、育て方なども詳しく教えてもらい、おしゃべりをしながら楽しい時間となりました♪



ウォーキング「県民の森」

10月14日(火)、第6回ウォーキング教室は『県民の森』に行ってきました。心地良い秋空の中、ガイドの紺野さん、高瀬さんの指導のもと、一般参加者の方とウォーキング会員の皆さんと楽しくゆっくりと歩いて来ました。その土地の歩き方を学び、時には植物の話を聞き、木の葉のにおいに触れ、虫の鳴き声や鳥のさえずりを聞きながら、今年度最後のウォーキング教室の締め括りとなりました。ご参加下さいました皆さん、来年もまた楽しく元気に歩きましょう(^_^)お疲れ様でした。



グラウンド・ゴルフ愛好会大会

優勝 佐藤 吉光さん (永野)
準優勝 佐藤 友治さん (高野)
第3位 斎藤 亮さん (金谷)

10月15日(水)、グラウンド・ゴルフ愛好会大会が開催されました。中川地区グラウンド・ゴルフ愛好会の会員参加者で7班に分かれ、7ホール2ゲームでスタート!! 日頃の練習の成果を大いに発揮し、入賞目指し頑張っていました。ホールインワンもたくさん出て驚きました。来年の大会も白熱した戦いが見れるのを楽しみにしたいと思います♪今年度の競技もあと少しです。皆さん最後まで楽しく頑張ってください!!



中川地区地域推進会議



10月17日(金)、各関係者よりご参加いただき、中川地区地域推進会議が猿倉レストハウスにて開催されました。各種団体の事業報告、各地区の要望等が述べられた後、上市市役所建設課より「道路等に関しては個別に対応し、その他に関しては担当課に伝えたい」との言葉をいただきました。空き家問題、鳥獣被害、インフラ整備など、これからも全体で問題等を共有しながら各地区でできる事はもちろんですが、市や議員の方々、県への協力もお願いして早めに対策を講じることが必要となります。



粋いき倶楽部

10月24日(金)第6回粋いき倶楽部は、秋の一日研修「白鷹町を学ぶ〜和紙すき体験、歴史民俗資料館」で、バスの中から少し色づいてきた紅葉を眺めながら、「深山和紙振興研究センター」を訪問しました。和紙センターの高橋さんより深山和紙の歴史を聞いた後、順番に紙すきをしました。思う以上に難しい作業でしたが貴重な体験となりました。待っている間に和紙を使ってはがきを作り、素敵な作品が出来上がっていました。午後は、歴史民俗資料館あゆみしるで、昔の貴重な用具の説明を聞き、当時の生活に触れ、「これ使ってたんだ!」という方もいて皆さんの昔体験で盛り上がりしました。今まで知らなかった白鷹町をたくさん知ることができ、充実した一日となりました。



お知らせ

公民館の大掃除を行います!

お手伝いしていただける

ボランティアを募集します!

日時: 12月12日(金) 10:00~12:00

持物: 古タオル、ゴム手袋等

その他: 暖かい服装、汚れても良い服装でお越しください。

おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第二百五弾〉

「昭和考、問わず語り（その57）」

昭和十二年九月、近衛内閣による国民精神動員運動が始まり、国内は戦時体制に入っていきます。
本稿は、その後の戦時体制強化について記述します。

〈昭和十二年、国民精神動員運動開始後の国内外の主な動き〉

- 十一月二日 広田外相、対中和平条件を駐日独大使に伝える。
 - 十一月三日 東京市国民精神動員運動実行部主催の皇威宣揚皇国市民大会、六万人を集めて二重橋前広場で挙行。
 - 十一月四日 戦艦大和、広島県呉海軍工廠で起工する（十六年十二月十六日竣工）。
 - 十一月六日 イタリアの日独防共協定参加に関する日独伊三国議定書、ローマで調印。
 - 十一月九日 日本軍が上海市の包囲網を完成する。
 - 十一月十日 第五回報国音楽週間の連合女子音楽体育大会が明治神宮外苑競技場で開かれ、高女生徒五万人が合唱。
 - 十一月十四日 陸軍機械化装甲部隊、戦車・装甲車百五十両を動員して代々木練兵場で連動演習、その後市内を行進。
 - 十一月十六日 少額国債「愛国債券」が郵便局で売り出される。大蔵省が「共に一枚銃後の護り」と購入を呼びかけ。
 - 十一月十六日 関東・東北一府十六県で防空法施行後最初の防空演習が始まる（二十三日終了）
- 〈統制経済によって生活水準が低下へ〉
- 昭和十二年九月の帝国議会で、いわゆる戦時統制三法が成立し、本格的な統制経済が進められた。この狙いは、国民生活にあてる品物を輸出に回して外貨の獲得に使い、軍需物資を優先的に輸入し、軍需産業に重点的に資金と物資を集中させようというものだったから、それ以外の産業では生産が激減し、生活水準は日を追って低下し始めた。
- 昭和十二年九月二十五日、警視庁は、ガソリン節約のため東京の深夜円タクの流しを禁止し、二十四日深夜より交通巡査を総動員して都内の六百余の駐車場を徹夜で巡視した。

また十二月二十七日には、商工省が綿製品・スフ等混用規制を公布した。これによって、綿製品にはスフなどの人造繊維の三十割混用が義務付けられた。

警沢の排撃する風潮が高まって、日の丸弁当がもてはやされ、電力をむだに消費するという理由から、「パーマメント」はやめましょう」というキャンペーンが始まった。

（写真①は、「警沢は敵」の看板を掲げて行進している状況。写真②は、パーマメントをした女性が群衆に指弾されているところ）

〈徴兵の合格基準を引き下げ〉

昭和十二年の兵役法では、「国民皆兵」の原則がうたわれ、満十七歳から満四十歳までの男子のほとんどは、なんらかの形で兵役につかなければならなかった。

昭和十二年二月十九日、兵役法施行令の一部が改正され、徴兵検査の身長基準がそれまでの「百五十五センチ以上」から「百五十センチ以上」と五センチ引き下げられた。これによって徴兵検査の合格者が一挙に増加することになり、軍の動員兵力増大が可能となった。十一月六月には、こうした満州事変以後の情勢変化のもとで、帝国国防方針・用兵綱領第三次改定が行われた。

この改定では、仮想敵国はアメリカとソビエトとされた。陸軍は対ソを目標とし、五十個師団、航空百四十二中隊を所要兵力、海軍は対米を目標とし、戦艦・空母各十二隻、航空六十五隊を所要兵力とした。

さらに十一月八月七日、広田弘毅内閣の五相会議（首、蔵、陸、海、外の各相）で決まった「国策の基準」で、中国への進出とともに東南アジアへの進出が構想され、大幅な軍備増強がうたわれ、若い現役兵が必要となった。

徴兵適齢者は毎年六十万七千人ほどおり、甲種合格者はそのうちの二十五割三十割前後であった。八年ころまでは、現役として徴集されるのは甲種合格者の半数から七十割くらい、すなわち現役徴集率は、二十割だった。しかし十二年には、約二十三割、十三年には四十四割を超え、十四年には約四十七割になった。したがって、合格身長を五センチ下けても甲種

甲石地区 高橋 正之

合格者だけでは不足、乙種にまで現役入隊者が拡大した。（以上「昭和二年日の全記録」講談社刊より。写真も同じ。）

〈在郷軍人会〉

「在郷軍人会」とは、明治四十三年に組織化した財団法人である。日本軍隊の徴兵制度で、予備兵力の保有のために設置されたものである。兵営で一定期間訓練された者が除隊後に予備役に編入され、帰郷後も有事の時は召集できるように設けられたものである。

当初は陸軍軍人だけであったが、大正三年、陸海軍協同することになり、後には、補充兵の中から入会する者もいた。

目的は、軍人精神の振作、軍事知識の増進にあったが、昭和七年の満州事変勃発後は、軍人精神の鍛練と演習、戦没者の祭典、戦死者遺族の慰問などを行った。

中川村にも分会があり、会員は、常時出頭・召集などに備え、いつも所在を明らかにして待機していた。そのため軍隊手帳はじめ日用品を収納する官給の「奉公袋」があった。（「中川郷土史」より）

（次回は、大本營の設置、国家総動員法の制定などについて記述する予定です。）



(写真①)



(写真②)